

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

演題：iPS細胞技術を使った軟骨疾患治療方法の開発

講師：妻木 範行 先生

京都大学 iPS細胞研究所 (CiRA)

増殖分化機構研究部門細胞誘導制御学分野 教授

日時：平成26年10月31日(金)

18時00分 ~ 20時00分

場所：共用講義室1 (M&Dタワー 2階)

講演要旨：

軟骨は骨の端を覆い、滑らかな関節運動を担っている。関節軟骨は損傷されると治癒せず、やがて広範な軟骨変性に至り、変形性関節症を発症する。軟骨損傷の再生治療において、高品質な軟骨細胞の供給が求められている。人工多能性幹細胞 (iPS細胞) の開発により、多能性とほぼ無限の増殖能を持つが、倫理的問題を伴わない細胞が使えるようになった。我々はiPS細胞から軟骨細胞を分化誘導し、限局した関節軟骨欠損に移植する治療方法の開発をめざして研究を行っている。また、iPS細胞技術を応用することで、iPS細胞を経ずに、線維芽細胞を直接、軟骨細胞へ変換させる技術開発も行っている。これら、細胞のタイプを変える技術が軟骨疾患の治療方法開発に与えるインパクトについて、我々の取り組みを紹介する。

【連絡先】 運動器外科学分野 宗田大 (内線4020)